

品川区子ども・子育て支援事業計画の策定に伴う意向調査(案)

— 調査へのご協力をお願い —

日頃より、区政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

平成 27 年度からの子ども・子育て支援新制度の実施にあたって、品川区では、「子ども・子育て支援事業計画（以下「計画」）」を策定します。この計画では、子育て中の皆さんの子育てに関する意向を把握し、計画に反映する必要があります。そのため、意向（アンケート）調査では、子育て中の皆様の保育に関する利用状況や今後の利用希望、保護者の皆様の就労状況等を調査させていただきたいと思えます。

お手数ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成 25 年 9 月

品川区長 濱野 健

★本調査は、区内にお住まいの 0～5 歳のお子さんを持つご家庭から無作為に抽出したご家庭を対象にしております。

★調査は無記名方式で行い、調査結果は統計的に処理された上で活用されるため、個人の回答結果が明らかにされたり、お子さんの教育・保育事業の利用に影響したりすることはありません。

★調査結果は、区の子ども・子育て支援施策の推進のためにのみ利用され、それ以外の目的に使用されることはありません。なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいてもかまいません。

★お忙しい中誠に恐縮ですが、別紙調査票にご記入の上、ご回答いただいた調査票は三つ折にして同封の返信用封筒に入れ、9月●●日（●）までに、ポストに入れてください。（切手は不要です）

【お問い合わせ先】

品川区が株式会社社会構想研究所に委託して実施しております。

調査主体：子ども・子育て支援新制度に係ること

品川区 子ども未来事業部 保育課 制度改革・待機児童対策担当

電話 03-5742-6936 （時間：月～金 8時30分～17時15分）

FAX 03-5742-6350

委託先：調査に係ること

株式会社 社会構想研究所 担当：片平

電話 03-6430-9277 （時間：月～金 10時～18時）

FAX 03-6430-9278

回答するにあたってお読みください

品川区は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」と言います）の下で、教育・保育・子育ての支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施していきます（平成27年度から実施予定）。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

【用語の定義】

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 幼保一体施設：幼保一体施設は、幼稚園と保育園のそれぞれの培ってきたメリットを融合させ、0歳から就学前までの乳幼児期に一貫した保育・教育を行う品川区独自の施設
- ・ 子育て支援：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

品川区は「未来を担う子どもたちの育成支援」を進めます。

品川区では、様々な子育て支援を行っています。緊急課題として、待機児童解消対策の取組みの充実を図るとともに、平成27年4月の本格施行予定の「品川区子ども・子育て支援制度」の準備も進めてまいります。

○品川区の保育・教育施設をご紹介します。

認可保育園

保護者が就労や疾病などのために乳幼児の保育ができないとき、保護者に代わって保育する施設で、児童の発達と保護者の就労を支援する施設です。

(現在の施設数) 67園 (区立42園 私立23園 区立民営1園 保育所型認定こども園1園)

認証保育所

東京都で定めた要件を満たし、都知事が認証した保育施設です。民間事業者による自主事業で、都市部の多様なニーズに対応することを目的としています。

(現在の施設数) 20園

家庭的保育事業(保育ママ)

保護者が日中就労等のため乳児の保育ができないとき、資格および保育経験を有する保育ママが、居宅その他の場所で保育を行います。地域の子育て力を活用し、家庭的な温かい環境で少人数で保育を行い

(現在の施設数) 11か所 (在宅型3か所 事業所型8か所)

幼保一体施設

幼稚園と保育園のそれぞれの培ってきたメリットを融合させ、0歳から就学前までの乳幼児期に一貫した保育・教育を行う品川区独自の施設です。

(現在の施設数) 6園 (公設公営5園 公設民営1園)

認定こども園

保育園における乳幼児教育の内容充実や地域子育て支援機能の充実を図るため、保育機能とあわせ保護者の就労の有無に問わない短時間利用枠を設けています。

(現在の施設数) 4園 (区立3園 私立1園)

幼稚園

満3歳から小学校就学までの幼児教育をおこなう施設です。預かり保育(教育時間終了後からの保育)については区立では全園、私立では一部実施しています。

(現在の施設数) 27園 (区立9園 私立18園)

○品川区の子育て支援事業をご紹介します。

認可保育園の延長夜間保育	勤務時間や通勤時間の都合で、基本開園時間(午前7時30分から午後6時30分)を超えて保育が必要な場合に対応しています。
幼稚園の預かり保育	就労形態の多様化に伴う社会的な要請に対応し、保護者の就労支援と幼児が健やかに養育する環境を整備するため実施しています。
休日保育	休日に保護者が就労等のため保育できない場合に利用することができます
年末保育	年末に保護者が就労等のため保育できない場合に利用することができます
病児保育	保育園や幼稚園等に通園しているお子さんが病気のため集団保育が困難で、保護者が仕事を休めず家庭で保育ができない場合、委託医療機関でお預かりします。
病後児保育	保育園や幼稚園等に通園しているお子さんが病気の回復期のため集団保育が困難で、保護者が仕事を休めず家庭で保育ができない場合、一時的にお預かりします。
短期間就労対応型保育室	パートや自営業等のご家庭で、短時間の保育を継続的に必要とするお子さんを対象として実施しています。
一時保育	保護者が病気や出産、就職活動などのためにお子さんを保育できないときに一時的にお預かりします。
しながわっこ 子育てかんがるープラン	子育て相談員が、妊娠中の方から小学校就学前までのお子さんの保護者を対象に、子育て相談を通し、子育て支援事業の紹介や情報提供を行い、就学前の子育てプランを作成するお手伝いをします。
生活支援型一時保育 (オアシスルーム)	在宅で子育てをする保護者がカルチャースクール、通院、買い物などをする間、お子さんをお預かりします。
児童センター	児童の健全育成に資するため、子どもたちに遊びの場と機会を提供し、自立を援助します。また、子育て家庭を支援するために、子育て相談や親子のひろば等の充実を図っています。
すまいるスクール	全小学校で放課後や土曜日、夏休みなど長期休業日等に、学校施設を活用して、児童が学習や遊び、スポーツが出来る居場所として開設しています。

<問い合わせ先>

品川区子ども未来事業部保育課制度改革・待機児童対策担当
〒140-8715 品川区広町2-1-36
TEL 5742-6936

<さらに詳しく知りたい方>

品川区ホームページ

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp>
・ライフステージ別の「子育て」には、子育て支援に関すること、相談先等、また平成25年度版の「いきいきあんしん子育てガイド」を掲載
・「広報しながわ」の平成25年度版の「平成25年4月21日号(子育て特集号)」を掲載

内閣府ホームページ

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/index.html>
・子ども・子育て支援制度に関すること
・リーフレット「おしえて！子ども・子育て支援新制度」が掲載

①3歳未満の方

品川区子ども・子育て支援事業計画の策定に伴う意向調査(案)

【ご回答にあたって】

- ① アンケート調査には、保護者の方がご記入ください。
- ② 特にことわり書きがある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ③ 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。数字や文章を記入していただく場合もありますので、設問の指示にしたがってお答えください。
- ④ 選択肢に矢印やことわり書きがある場合は、それにしたがって次の設問に進んでください。
- ⑤ 数字で時刻をご記入いただく質問には、24時間制（午後6時 → 18時）でお答えください。

お住まいの地域について伺います。

問1 お住まいの町名を 内に記載してください。(例：広町)

町名

封筒のあて名のお子さんのご家族の状況について伺います。

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(内に数字でご記入ください)

平成 年 月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数

 人

末子の生年月

平成

年

月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親

2. 父親

3. その他(

)

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる

2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他（ ）

お子さんの養育環境について伺います。

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある → 問8へ 2. ない → 問9へ

問8 問7で「1. いる／ある」に○をつけた方に伺います。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人 3. 近所の人
4. 保育士 5. 幼稚園教諭 6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医師 8. 子育てグループサークル
9. 子育て支援施設（児童センター等）・NPO 10. 保健所・保健センター
11. 区の子育て関連担当窓口 12. その他（ ）

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

あて名のお子さんの保護者の就労状況について伺います。

問11 あて名のお子さんの保護者は子育てと就労についてどのようにお考えですか。

(1) 母親

1. 在宅で子育てをしたい 2. 保育を利用して働きながら子育てをしたい
3. 配偶者が在宅で子育てして自分は働きたい

(2) 父親

1. 在宅で子育てをしたい 2. 保育を利用して働きながら子育てをしたい
3. 配偶者が在宅で子育てして自分は働きたい

問12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

} → (1)-1へ

} → (2)へ

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（内に数字でご記入ください）

1週あたり 日 1日あたり 時間

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。（内に数字でご記入ください）

家を出る時間 時 帰宅時間 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

} → (2)-1へ

} → 問14へ

(2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（内に数字でご記入ください）

1週あたり 日 1日あたり 時間

(2) -2 (2)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。(内に数字でご記入ください)

家を出る時間 時 帰宅時間 時

問13 問12の(1)または(2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方に伺います。(該当しない方は、問14へお進みください)

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方に伺います。(該当しない方は、問15にお進みください)

就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア.」以外)
→1週あたり 日 1日あたり 時間
4. 病気等で就労が困難

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア.」以外)
→1週あたり 日 1日あたり 時間
4. 病気等で就労が困難

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について伺います。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 16-1 に示した事業が含まれます。

問 15 現在、ご利用している教育・保育事業の実施場所について伺います。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 品川区内 2. 他の区市

問 16 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している → **問 16-1 へ** 2. 利用していない → **問 16-4 へ**

問 16-1~問 16-3 は、問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方に伺います。

問 16-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都等の認可を受けたもの）
2. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設：区立一本橋・五反田・旗の台保育園、私立学研こども園）
3. 幼保一体施設（保育園と幼稚園を同じ建物内か隣接する施設内において一体的に運営する施設：二葉・北品川・第一日野・平塚すこやか園、のびっこ園台場）
4. 就学前乳幼児教育施設（保育園と幼稚園相互の特色を生かした保育と教育を継続的、一体的に行う施設：ぷりすくーる西五反田）
5. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7. 認証保育所（認可保育所ではないが、都が定めた施設基準を満たし、都が認証した施設）
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育（ベビーシッター：保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
11. その他（ ）

問 16-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを、 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9 時~18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週あたり 日 1 日あたり 時間 (時~ 時)

(2) 希望

1 週あたり 日 1 日あたり 時間 (時~ 時)

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について伺います。

問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「児童センター」、「子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を 内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（児童センター、子育て支援センター）
1週あたり 回 もしくは 1か月あたり 回程度
2. その他品川区で実施している事業（子育て支援ルーム、子育て支援サロン、ポップンルーム等）
1週あたり 回 もしくは 1か月あたり 回程度
3. 利用していない

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を 内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週あたり 回 もしくは 1か月あたり 回程度
2. 既に利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週あたり 更に 回 もしくは 1か月あたり 更に 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 20 下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級 両親学級 育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育てかんがるープラン	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧いきいきあんしん子育てガイド	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨児童センターの子育て相談・広場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童センターの講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪保育所と幼稚園の子育て相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について伺います。

問 21 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------|
| 1. 利用する必要はない | 2. ほぼ毎週利用したい | } 利用したい時間帯 |
| | 3. 月に1～2回は利用したい | |
| | | □ 時から □ 時まで |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------|
| 1. 利用する必要はない | 2. ほぼ毎週利用したい | } 利用したい時間帯 |
| | 3. 月に1～2回は利用したい | |
| | | □ 時から □ 時まで |

問 21-1 問 21 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方に伺います。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 () | |

あて名のお子さんの病気の際の対応について伺います。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 16 で「1.」に○をつけた方)に伺います。(利用していらない方は、問 24 にお進みください)

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった → 問 22-1 へ 2. なかった → 問 23 へ

問 22-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も □ 内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が仕事を休んだ	□ 日
イ. 母親が仕事を休んだ	□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	□ 日
ケ. その他	□ 日

→ 問 22-2 へ

→ 問 22-5 へ

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方に伺います。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても 内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 → 問22-3へ
2. 利用しない → 問22-4へ
3. 病児・病後児保育施設等があることを知らなかった

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方に伺います。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. その他（ ）

問 22-4 問 22-2 で「利用しない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問 22-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方に伺います。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ.」から「ケ.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 → 問23へ
2. 休んで看ることは非常に難しい → 問22-6へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について伺います。

問 23 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も □ 内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□ 日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不特定に利用する場合のみ）	□ 日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	□ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□ 日
5. ベビーシッター	□ 日
6. その他（ ）	□ 日
7. 利用していない → 問23-1へ	

→ 問24へ

問 23 で「7. 利用していない」と回答した方に伺います。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を □ 内に数字でご記入ください）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	□ 日
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		□ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等		□ 日
ウ. 不特定の就労		□ 日
エ. その他（ ）		□ 日
2. 利用する必要はない		

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	カ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 泊
2. なかった		

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について伺います。

問 26 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する 内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ <input type="text"/> 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である）→取得期間 <input type="text"/> 日 3. 取得していない ⇒ <input type="text"/> 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育園などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他（ ）

問 26-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方に伺います。

→ 該当しない方は問 27 へ

問 26-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方に伺います。

問 26-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 26-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ か月 希望 □ 歳 □ か月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ か月 希望 □ 歳 □ か月

問 26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

□ 歳 □ か月

(2) 父親

□ 歳 □ か月

問 26-4 で実際の復帰と希望が異なる方に伺います。

問 26-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由について伺います。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6. その他 () |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6. その他 () |

問 26-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問 26-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方に伺います。

問 26-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他（ ）

お子さんの養育環境について伺います。

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある → **問8へ** 2. ない → **問9へ**

問8 問7で「1. いる／ある」に○をつけた方に伺います。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人 3. 近所の人
4. 保育士 5. 幼稚園教諭 6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医師 8. 子育てグループサークル
9. 子育て支援施設（児童センター等）・NPO 10. 保健所・保健センター
11. 区の子育て関連担当窓口 12. その他（ ）

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

あて名のお子さんの保護者の就労状況について伺います。

問11 あて名のお子さんの保護者は子育てと就労についてどのようにお考えですか。

(1) 母親

1. 在宅で子育てをしたい 2. 保育を利用して働きながら子育てをしたい
3. 配偶者が在宅で子育てして自分は働きたい

(2) 父親

1. 在宅で子育てをしたい 2. 保育を利用して働きながら子育てをしたい
3. 配偶者が在宅で子育てして自分は働きたい

問12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ (1)-1へ

→ (2)へ

(1) -1 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ 内に数字でご記入ください）

1週あたり 日 1日あたり 時間

(1) -2 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。（ 内に数字でご記入ください）

家を出る時間 時 帰宅時間 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（被雇用または自営：1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ (2)-1へ

→ 問13へ

(2) -1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ 内に数字でご記入ください）

1週あたり 日 1日あたり 時間

(2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方に伺います。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。(内に数字でご記入ください)

家を出る時間 時 帰宅時間 時

問13 問12の(1)または(2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方に伺います。(該当しない方は、問14へお進みください)

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(被雇用または自営:1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方に伺います。(該当しない方は、問15にお進みください)

就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア.」以外)
→1週あたり 日 1日あたり 時間
4. 病気等で就労が困難

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア.」以外)
→1週あたり 日 1日あたり 時間
4. 病気等で就労が困難

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について伺います。

問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「児童センター」、「子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（児童センター、子育て支援センター）
1週あたり □ 回 もしくは 1か月あたり □ 回程度
2. その他品川区で実施している事業（子育て支援ルーム、子育て支援サロン、ポップンルーム等）
1週あたり □ 回 もしくは 1か月あたり □ 回程度
3. 利用していない

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週あたり □ 回 もしくは 1か月あたり □ 回程度
2. 既に利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週あたり 更に □ 回 もしくは 1か月あたり 更に □ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 20 下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級 両親学級 育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育てかんがるープラン	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧いきいきあんしん子育てガイド	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨児童センターの子育て相談・広場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童センターの講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪保育所と幼稚園の子育て相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について伺います。

問 21 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|--------------|-----------------|------------|
| 1. 利用する必要はない | 2. ほぼ毎週利用したい | } 利用したい時間帯 |
| | 3. 月に1～2回は利用したい | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|--------------|-----------------|------------|
| 1. 利用する必要はない | 2. ほぼ毎週利用したい | } 利用したい時間帯 |
| | 3. 月に1～2回は利用したい | |

問 21-1 問 21 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方に伺います。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 () | |

問 22 「幼稚園」を利用されている方に伺います。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 22-1 問 22 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方に伺います。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 () | |

あて名のお子さんの病気の際の対応について伺います。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 16 で「1.」に○をつけた方）に伺います。（利用していらない方は、問 24 にお進みください）

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- | | | | |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. あった | → 問 23-1 へ | 2. なかった | → 問 24 へ |
|--------|------------|---------|----------|

問 23-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が仕事を休んだ	<input type="text"/> 日
イ. 母親が仕事を休んだ	<input type="text"/> 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	<input type="text"/> 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	<input type="text"/> 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> 日
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日
ケ. その他	<input type="text"/> 日

→ 問23-2へ

→ 問23-5へ

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 23-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方に伺います。

問 23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても 内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 → 問23-3へ
2. 利用しない → 問23-4へ
3. 病児・病後児保育施設等があることを知らなかった。

問 23-3 問 23-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方に伺います。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. その他()

問 23-4 問 23-2 で「利用しない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)が良くない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

問 23-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方に伺います。

問 23-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ.」から「ケ.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 → 問24へ
2. 休んで見ることは非常に難しい → 問23-6へ

問 23-6 問 23-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他 ()

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について伺います。

問 24 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も 内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	<input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	<input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="text"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="text"/> 日
6. その他 ()	<input type="text"/> 日
7. 利用していない → 問24-1へ	

→ 問25へ

問 24 で「7. 利用していない」と回答した方に伺います。

問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()

問 25 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を 内に数字でご記入ください）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="text"/> 日
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	<input type="text"/> 日
ウ. 不定期の就労	<input type="text"/> 日
エ. その他 ()	<input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない → 問26へ	

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	カ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 泊
2. なかった		

あて名のお子さんの生年月日が平成 20 年 4 月 1 日以前の生まれの場合、小学校就学後の放課後の過ごし方について伺います。

→ **あて名のお子さんの生年月日が平成 20 年 4 月 1 日以降の生まれの場合、問 31 へ**

問 27 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育（すまいるスクール）」の場合には、利用を希望する時間も 内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

1. 自宅	① 家族とともに過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
	② ファミリーサポートの会員・シッターなどとともに過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅		週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）		週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター		週 <input type="text"/> 日くらい
5. 学童保育（すまいるスクール）		週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで
6. ファミリー・サポート・センター		週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他（文化センター・図書館・公園など）		週 <input type="text"/> 日くらい

問 28 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育（すまいるスクール）」の場合には利用を希望する時間も 内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※ だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 学童保育（すまいるスクール）	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. その他（文化センター・図書館・公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 29 問 27 または問 28 で「5. 学童保育（すまいるスクール）」に○をつけた方に伺います。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育（すまいるスクール）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を 内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

- | | | |
|-------------------------|-----|---|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → | 利用したい時間帯
<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | |
| 3. 利用する必要はない | | |

（2）日曜・祝日

- | | | |
|-------------------------|-----|---|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → | 利用したい時間帯
<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | |
| 3. 利用する必要はない | | |

問 30 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育（すまいるスクール）の利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、 内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

- | | | |
|-------------------------|-----|---|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } → | 利用したい時間帯
<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | |
| 3. 利用する必要はない | | |

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について伺います。

問 31 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する 内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ <input type="checkbox"/> 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) → 取得期間 <input type="checkbox"/> 日 3. 取得していない ⇒ <input type="checkbox"/> 取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ()

問 31-1 子どもが原則1歳 (保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月) になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等 (法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置) 期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

②父親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6. その他（ |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6. その他（ |

問 31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問 31-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方に伺います。

問 31-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（

